

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 6 月 1 0 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所管理部門長 南 浩史

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 (単価契約)冬春季薩南海域及び黒潮周辺海域の動物プランクトン試料解析業務一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和 8 年 3 月 1 9 日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 入札金額は、単価に予定数量を乗じた合計額を記載すること。また、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 1 0 0 分の 1 0 に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 1 1 0 分の 1 0 0 に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成 1 3 年 4 月 1 日付け 1 3 水研第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項及び第 1 3 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 7 ・ 8 ・ 9 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」で「 A 」、「 B 」、「 C 」又は「 D 」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 3 2 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付
神奈川県横浜市金沢区福浦 2 - 1 2 - 4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所管理部門管理課
電話 0 4 5 - 7 8 8 - 7 6 2 6
F A X 0 4 5 - 7 8 8 - 5 0 0 1
 - ② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「(単価契約)冬春季薩南海域及び黒潮周辺海域の動物プランクトン試料解析業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。
 - ③ メールによる交付
任意書式に「(単価契約)冬春季薩南海域及び黒潮周辺海域の動物プランクトン試料解析業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和 7 年 6 月 1 8 日までに上記 3. あてにメール（アドレスは入札説明

書に記載)又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に對して行うとともに当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。ただし、質疑内容に個人に関する情報であつて特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所
- 令和7年6月27日14時00分
神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
横浜庁舎 ビデオライブラリー室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所
- 令和7年6月27日12時00分
3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨
- 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金
- 免除。
- (3) 入札の無効
- 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否
- 要。
- (5) 落札者の決定方法
- 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
- 次の①及び②いずれにも該当する契約先
- ① 当機構において役員を経験した者(役員経験者)が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等※注1として再就職していること
- ② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2
- なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
- ※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。
- ※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
- 上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
- ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当機構における最終職名
- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
- 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報(人数、現在の職名及び当

機構における最終職名等)

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文部科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL: https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf)をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 (単価契約) 冬春季薩南海域及び黒潮周辺海域の動物プランクトン試料解析業務

2. 業務目的 マイワシの資源増大にあたり、産卵場の形成の可能性が考えられる冬春季の薩南海域と小型浮魚類の仔稚魚の生育場・まぐろ類やニホンウナギ等の回遊域である黒潮周辺海域について、(1)水産資源の餌料生産に関わる動物プランクトンの組成・分布の解明に必要なデータを取得する。(2)熊野灘において沖合域と沿岸域の関係を明らかにする。以上を目的として同海域の動物プランクトン試料について分析を行う。

3. 予定数量 80検体(予定数量と発送予定時期は以下のとおり)
(1)78検体(発送予定時期 1回目8月頃、2回目1月頃)
(2) 2検体(発送予定時期 9月頃)
プランクトンネット1回の曳網で得られた試料を1検体とする
(1検体あたりの試料サイズは約100ml～500ml)

4. 納入場所 神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所(横浜庁舎)

5. 履行期限 令和8年3月19日

6. 業務内容

① 標本等の確認

請負業者は標本受領後、速やかに標本と標本一覧表を照合し、標本の状態等について確認を行い、担当職員へ受領した旨を連絡する。標本と標本一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、取扱いについて担当職員と協議する。なお、試料は契約直後に引き渡す(引き渡しにかかる送料等は当所負担とする)。

② 大型プランクトンの同定・計数

検体発送時に予め別容器に大型のプランクトン(クラゲ類・ヒカリボヤ・サルパ)が分けられている場合は、以下の分析を行う。分析後の検体は発送時の容器に収めて返却する。

- クラゲ類: 可能な限り同定し、個体数を計数、傘径と湿重量を測定する。計数値は検鏡試料の結果と合わせて結果表に反映させる。
- ヒカリボヤ: 群体数を計数、湿重量を測定する。
- サルパ: 個体数を計数、計数値は検鏡試料の結果と合わせて結果表に反映させる。

③ 検鏡

検鏡用に分割した試料について、動物プランクトンの種同定と計数を行う。作業は以下ア)～シ)の分類群について、記載された要領で行う。試料はカイアシ類(コペポディド幼生と成体)を200個体以上計数できる範囲であれば分割しても良い。分類は「日本産海洋プランクトン検索図説」、Marine Planktonic Copepods

(<http://copepodes.obs-banyuls.fr/en/>)などを参考にしながら、最新の情報を取り入れて行う(根拠とした文献は分析結果表に付記する)。分析作業は黒潮域の動物プランクトン(特にカイアシ類)に精通した者が行う。

- ア) カイアシ類:種同定できるカイアシ類を全て同定・計数する。特に別紙1に示した種は必ず種判別すること。コペポダイト・成体雌雄の3つに分けて同定・計数する(*Calanus sinicus*のみコペポダイトI~V期・成体雌雄の7つに分ける)。損傷が激しい等の理由で同定が困難なものについては属レベルで纏めてもよい。
- イ) クラゲ類(刺胞動物・有櫛動物):綱レベルで同定・計数する。
- ウ) 腹足類
- エ) 多毛類
- オ) 枝角類
- カ) 介形類
- キ) 軟甲類:以下の要領で分類・計数する。
- オキアミ類:ステージ別に計数する。種レベルでの同定が望ましい。
 - 十脚類
 - その他
- ク) ヤムシ類
- ケ) タリア類:以下の要領でヒカリボヤ・サルパ・ウミタルについて分類・計数する。
- ヒカリボヤ
 - サルパ:単独個体と連鎖個体を分けて計数する。
 - ウミタル:種レベルまで査定する。ナース世代については「ナース(Doliolidae nurse)」として纏めて計数する。破損の著しい個体については「種不明ウミタル類(Unidentified Doliolidae)」としてまとめる。
- コ) 尾虫類:種レベルで同定・計数する。添付リストに無いもの・損傷が激しく種判定ができないものは「種不明オタマゴヤ属(Unidentified *Oikopleura*)」のように纏めてもよい。
- サ) メロプランクトン(魚卵・稚仔魚含む): 作業者が知識を持つ範囲で可能な限り計数・同定する。
- シ) ノープリウス幼生:カイアシ類については、特にアカルチア科・オイソナ科等、可能であれば科のレベルまで判別する。科のレベルまで判別できないカイアシ類ノープリウス幼生・カイアシ類以外のノープリウス幼生については、判別可能な分類レベルまでの分類を行う。

④ 体長測定

同定・計数した動物プランクトンについて、体長・体幅など重量換算に必要な指標部位の測定を行う。カイアシ類コペポダイトについては前体部長、尾虫類については躯体体長、カイアシ類ノープリウスおよび他の分類群については全長を測定する。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。

⑤ 成果品提出

以下の情報を Microsoft Excel のシートか、カンマ区切りテキストファイルに纏め、担当職員宛に電子メールで提出する。Microsoft Excel シートの場合は全試料のデータを1シートに纏めること。

ア) 実計数値

イ) 個体数密度

実計測値・個体数密度については、「JODC 海洋生物コード(プランクトン)2001 年版」のコードを付記する。カイアシ類については科名も付記する。

ウ) 指標部位計測結果

- エ) 大型プランクトンに関する情報(クラゲ類傘径・湿重量など)
- オ) 分析担当者名(電子メールに直接記載しても良い)

⑥ 試料返却:分析後の試料のうち、黒潮周辺海域の試料は発注時の容器に収め、薩南海域の試料については以下の要領で返却すること。返却時の送料は請負業者負担とする。

- ア) 検鏡サンプル: 10 ml スクリュー管に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に試料全体に対する分割率を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- イ) 分割後の未検鏡サンプル:内蓋付の 50 ml ガラス製マヨネーズ瓶(M-70)に入れる(サンプル容量が多い時は 100ml 瓶でも可)。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に「航海名」「測点名」「採集層」と、試料全体に対する分割率を記入する。(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ウ) 大型プランクトンサンプル:適当なサイズのスクリュー管に入れ、容器内は 5%ホルマリンで満たす。蓋に「航海名」「測点名」「採集層」「内容物名(「クラゲ」「サルパ」「ヒカリボヤ」など)」を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。

7. そ の 他

- ① 業務に必要な消耗品等は請負業者にて準備すること。
- ② 成果品の提出の際は必ずファイルのウィルスチェックを行うこと。
- ③ 成果品について当所におけるチェック結果や、仕様書に反する成果品が提出された場合、全サンプルの再検を求めることがある。再検にかかる送料や解析費用等は、すべて請負業者が負担すること。
- ④ 詳細については担当職員の指示に従うこと。特に作業中に疑義が生じた場合は、必ず担当職員と打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進めること。
- ⑤ 本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- ⑥ 業務で知り得た情報について、第三者への開示をしないこと。

【別紙 1】水産資源研究所 動物プランクトン種名リスト (例)

Taxa (Stage)

Acartia spp. (C.)
Aetideidae spp. (C.)
Appendicularia sicula
Calanidae spp. (C.)
Calanus sinicus (F.)
Calanus spp. (Egg)
Calanus spp. (Nauplius)
Calocalanus contractus (F.)
Calocalanus curtus (F.)
Calocalanus gracilis (F.)
Calocalanus minutus (F.)
Calocalanus neptunus (F.)
Calocalanus pavoninus (F.)
Calocalanus spp. (C.)
Calocalanus spp. (F.)
Calocalanus spp. (M.)
Calocalanus styliremis (F.)
Candacia sp. (C.)
Canthocalanus pauper (F.)
Centropages sp. (C.)
Clausocalanidae spp. (C.)
Clausocalanus arcuicornis (F.)
Clausocalanus farrani (F.)
Clausocalanus furcatus (F.)
Clausocalanus lividus (F.)
Clausocalanus mastigophorus (F.)
Clausocalanus parapergens (F.)
Clausocalanus parapergens (M.)
Clausocalanus paululus (F.)
Clausocalanus paululus (M)
Clausocalanus pergens (F.)
Clausocalanus pergens (M.)
Corycaeidae spp. (C.)
Corycaeus flaccus (F.)
Corycaeus limbatus (F.)
Corycaeus minimus (F.)
Corycaeus minimus (M.)
Corycaeus typicus (M.)
Ctenocalanus vanus (C.)
Ctenocalanus vanus (F.)
Ctenocalanus vanus (M.)
Delius nudus (F.)
Doliolida (oozoid)
Doliolida (unidentified)
Doliolum denticulatum

【別紙 1】水産資源研究所 動物プランクトン種名リスト (例)

Taxa (Stage)

Echinodermata (Larva)
Epicalymma sp. (M)
Euaugaptilus hecticus (F.)
Eucalanus hyalinus (CV)
Euchaeta concinna (M.)
Euchaeta meida (F.)
Euchaetidae spp. (C.)
Euchirella rostrata (M.)
Eukrohnia hamata
Euphausiacea (Calyptopis)
Euphausiacea (Egg)
Euphausiacea (Furcifer)
Euphausiacea (J. +A.)
Euphausiacea (Metanauplius)
Farranula rostrata (F.)
Farranula rostrata (M.)
Fish larva (Larva)
Fritillaria borealis f. sargassi
Fritillaria formica f. digitata
Fritillaria spp.
Gastropoda
Haloptilus sp. (C.)
Hemicyclops sp. (C.)
Heterorhabdus sp. (C.)
Heterorhabdus spp. (C.)
Hydroida
Hyperiidea
Hyperiidea (unidentified)
Krohnitta subtilis
Lubbockia sp. (C.)
Lucicutia spp. (C.)
Lucifer sp.
Macrosetella gracilis (C.)
Mecynocera clausi (C.)
Mecynocera clausi (F.)
Mesocalanus tenuicornis (F.)
Microsetella norvegica (F.)
Microsetella norvegica (M.)
Microsetella rosea (F.)
Microsetella rosea (M.)
Microsetella spp. (C.)
Natantia
Neomormonilla minor (F.)
Noctiluca scintillans
Oikopleura albicans

【別紙 1】水産資源研究所 動物プランクトン種名リスト (例)

Taxa (Stage)

Oikopleura cophocerca
Oikopleura dioica
Oikopleura fusiformis
Oikopleura longicauda
Oikopleura rufescens
Oikopleura spp.
Oithona atlantica (F.)
Oithona decipiens (F.)
Oithona fallax (F.)
Oithona fragilis (F.)
Oithona longispina (F.)
Oithona nana (F.)
Oithona nana (M.)
Oithona plumifera (F.)
Oithona pulla (F.)
Oithona pulla (M.)
Oithona setigera (F.)
Oithona similis (F.)
Oithona similis (M.)
Oithona simplex (F.)
Oithona simplex (M.)
Oithona tenuis (F.)
Oithona vivida (F.)
Oithonidae spp. (C.)
Oithonidae spp. (M.)
Oncaea clevei (F.)
Oncaea crypta (M.)
Oncaea ivlevi (F.)
Oncaea media (F.)
Oncaea media (M.)
Oncaea mediterranea (F.)
Oncaea parabathyalis (M.)
Oncaea scottodicarloi (F.)
Oncaea scottodicarloi (M.)
Oncaea tregoubovi (F.)
Oncaea venusta large form (F.)
Oncaea venusta large form (M.)
Oncaea venusta medium form (F.)
Oncaea venusta medium form (M.)
Oncaea venusta small form (F.)
Oncaea venusta small form (M.)
Oncaea vodjaniskii (F.)
Oncaea waldemari (F.)
Oncaea waldemari (M.)
Oncaea zernovi (F.)

【別紙 1】水産資源研究所 動物プランクトン種名リスト (例)

Taxa (Stage)

Oncaea zernovi (M.)
Oncaeidae spp. (C.)
Ostracoda
Other Copepoda (Egg)
Other Copepoda (Nauplius)
Paracalanidae spp. (C.)
Paracalanus aculeatus (F.)
Paracalanus aculeatus f. minor (F.)
Paracalanus gracilis (F.)
Paracalanus nanus (F.)
Paracalanus nanus (M.)
Paracalanus orientalis (F.)
Paracalanus parvus s. l. (C.)
Paracalanus parvus s. l. (F.)
Paracalanus parvus s. l. (M.)
Paraeuhcaeta russelli (F.)
Pareucalanus attenuatus (F.)
Pareucalanus spp. (C.)
Pleuromamma abdominalis (F.)
Pleuromamma abdominalis (M.)
Pleuromamma gracilis (F.)
Pleuromamma piseki (F.)
Pleuromamma piseki (M.)
Pleuromamma spp. (C.)
Pleuromamma xiphias (F.)
Pleuromamma xiphias (M.)
Polychaeta
Pterosagitta draco
Rhincalanus nasutus (F.)
Sagitta bipunctata
Sagitta decipiens
Sagitta enflata
Sagitta hexaptera
Sagitta lyra
Sagitta minima
Sagitta nagae
Sagitta neodecipiens
Sagitta pacifica
Sagitta pseudoserratodentata
Sagitta regularis
Sagitta spp. (unidentified)
Salpa fusiformis (S.)
Scaphocalanus similis (M.)
Scaphocalanus sp. (C.)
Schiphomedusa

【別紙 1】水産資源研究所 動物プランクトン種名リスト (例)

Taxa (Stage)

Scolecithrix danae (F.)

Scolecitrichidae spp. (C.)

Siphonophora

Spinoncaea ivlevi (F.)

Spinoncaea ivlevi (M.)

Spinoncaea tenuis (F.)

Spinoncaea tenuis (M.)

Stegosoma magnum

Subeucalanus spp. (C.)

Temoropia mayumbaensis (M.)

Thalia rhomboides (A.)

Thalia rhomboides (S.)

Thalia sp. (S.)

Triconia conifera (F.)

Triconia elongata (F.)

Triconia elongata (M.)

Triconia giesbrechti (F.)

Triconia minuta (F.)

Triconia minuta (M.)

Triconia redacta (F.)

Triconia sp. (F.)

Triconia sp. (M.)

Triconia umerus (F.)

Triconia umerus (M.)

Undeuchaeta major (F.)

Undeuchaeta sp. (C.)

Vetтория sp. (C.)